

大腿骨近位部骨折に対する治療を受けられる患者さんへ

(大腿骨近位部骨折の適正治療を目指したグローバルデータベースの作成について)

研究機関：徳島県鳴門病院 整形外科

研究責任者：邊見 達彦（病院長）

研究分担者：千川 隆志・日比野 直仁・平野 哲也・横尾 由紀・和田 一馬
松村 筆彦・橋本 采佳

1. 研究の目的および意義

大腿骨近位部骨折は、脆弱性骨折の終着駅とも言われ、高齢化の進行する世界的な規模での対策が求められている。Fragility fracture network (FFN) では、活動の1つとして大腿骨近位部骨折治療と予防のガイドラインと Audit に基づいたデータベースを作製し、大腿骨近位部骨折治療の改善、進歩への改革を進めている。

FFN-Japan (NPO法人日本脆弱性骨折ネットワーク) では国際比較を念頭に置いて、FFN共通の Minimum Common Dataset を用いたデータベースを作製して、病院間、地域性、さらに国際的な比較を行い、我が国の治療の特色や課題について検討する。

その結果に基づいて、ガイドラインを反映させた Audit system を提案する。

継時的なプロジェクトとして大腿骨近位部骨折の適正治療、二次骨折予防の徹底を実現し、海外での実施モデルを参考にし、国家的に診療報酬に反映されることを目指す。

2. 研究の方法等について

①研究対象者

徳島県鳴門病院にて大腿骨近位部骨折の治療を受けられた方 (50歳以上)

②研究実施期間

2022年10月1日～2028年3月31日 (延長する可能性あり)

③研究方法

インターネット上のデータベースへ登録します。

入院後1年までの追跡調査の実施。(入院後30日、90日、365日の調査)

④試料・情報の保管及び廃棄の方法

患者情報は、徳島県鳴門病院で管理する。FFN-Japan (NPO法人日本脆弱性骨折ネットワーク) でのデータ集計の際には番号によってデータが管理され個人が特定されるような危険はないものとする。

⑤個人情報等の取り扱い

本研究のために使用する試料等は、特定の個人を識別できる情報への匿名化を行う。

具体的には、当該診療情報に各個人毎に符号又は番号を付したデータを作成のうえ、個人情報を削除して匿名化したデータと符号又は番号の対応表をそれぞれ作成し、外部記憶媒体に記録する。

⑥研究資金の調達方法

F F N-Japan（NPO法人日本脆弱性骨折ネットワーク）として、研究に要する費用等を寄付にて募る。研究対象者へ負担を求めることはありません。

⑦研究に関する情報公開の方法

この研究に関する情報は、学会等で発表いたします。

3. 問い合わせおよび連絡先

この研究についてご質問等がございましたら、下記連絡先までお問い合わせ下さい。また、患者さんの試料・情報が研究に使用することについて同意いただけない場合には、研究対象といたしませんので、併せて下記連絡先にお申し出ください。

徳島県鳴門病院 整形外科

研究担当医師：千川 隆志・日比野 直仁・平野 哲也・横尾 由紀・和田 一馬
松村 筆彦・橋本 采佳

電話番号：088-683-0011（内線1180）【平日：9時～17時】